

定例記者会見

令和8年2月6日（金）13時30分

- 1 市政の動向
- 2 主な議案等のポイント
- 3 令和7年度 第11回補正予算のポイント
- 4 令和8年度 当初予算のポイント



(1) 「川内港の整備の推進」などを国土交通省に要望

11月12日、川内港整備促進期成会が国土交通省に対して、川内港における「港湾関連予算の確保」、「川内港の整備の推進」について要望を行いました。

<要望事項>

- 1 経済社会活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大などに必要な港湾関連予算の確保
- 2 川内港の整備の促進
 - ① 川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業の確実な暫定供用
 - ・岸壁（-12m）（耐震）
 - ・航路・泊地（-9m）
 - ② 早期完成に向けた着実な整備促進
 - ・航路・泊地（-12m）



(2) 土地区画整理事業の推進に係る要望

11月12日、国土交通省都市局長に対し、「土地区画整理事業の推進のための公共事業予算の確保」、および「国直轄の河川改修事業と連携して進める都市計画道路向田天辰線の整備推進に向けた公共事業予算の確保」について、要望を行いました。

<要望事項>

- 1 「土地区画整理事業の推進」のための公共事業予算の確保
- 2 河川改修事業と連携した都市計画道路向田天辰線の令和9年度完成に向けた公共事業予算の確保



(3) 「九州・台湾クリエイティブカンファレンスin熊本」で 本市の取り組みを発信

11月21日、九州・台湾クリエイティブカンファレンスin熊本で「サーキュラー都市・薩摩川内市の実現に向けた挑戦」と題し、本市の最新の経済トピックや循環経済に取り組む意義などについて紹介しました。

このイベントでは、日本、台湾、アメリカの産官学金のトップリーダーや研究者が集い、未来の産業・経済に関する議論が展開されました。カンファレンスの締めくくりでは、持続可能な経済成長を目指す「KTCC熊本宣言 2025」が発表され、その場に立ち会いました。



(4) 久見崎盆踊り「想夫恋」と入来神舞にさつませんだい スマイル応援隊員が参加

地域の行事や活動を応援するため、地域外の方々が参加し盛り上げる「さつませんだいスマイル応援隊」のモデル事業を兼ねて、県無形民俗文化財指定の「久見崎盆踊り『想夫恋』」の披露と「入来神舞」の奉納が行われました。いずれの郷土芸能も、保存会とスマイル応援隊員が一体となって取り組み、地域内外がつながる、笑顔あふれる一日となりました。

- ・ 11月23日 久見崎盆踊り「想夫恋」（6年ぶり） スマイル応援隊員：5名
- ・ 12月31日 入来神舞 スマイル応援隊員：4名



(5) 川内原発の安全な運転管理等に係る要望

11月27日、下園市議会議長と川内原子力発電所を訪問しました。

10月24日に九州電力株式会社が、乾式貯蔵施設の設置に関して国に申請し、本市と県に事前協議願を提出したことから、11月28日に川内原子力発電所2号機が運転開始40年を迎えることから、同発電所の安全な運転管理等について要望を行いました。

<要望事項>

- ・川内原子力発電所の安全性向上に不断に取り組むとともに、安全な運転管理の徹底に最大限注力をする事。
- ・国内外において新たな知見が判明した場合は、安全性向上に向けた対応に積極的に取り組むこと。
- ・使用済核燃料処理など核燃料サイクルの早期実現に向けて真摯に取り組むこと。
- ・原子力発電に対する市民の不安払しょくのため、積極的な情報公開と分かりやすく丁寧な説明をすること。
- ・地域経済の安定と発展のため、産業の多様化に向けた取組に努めること。



(6) 甌ミュージアムのさらなるPRのために名誉館長を委嘱

12月7日、国立科学博物館名誉研究員の真鍋真氏に甌ミュージアムの名誉館長を委嘱しました。

真鍋氏は日本の恐竜研究の第一人者であり、甌島で県内初の恐竜化石が発見されて以来、17年間にわたり調査・研究などに携わっています。

12月5日から7日に本市で初開催された日本古生物学会では「甌島から始める最新恐竜学」というテーマで講演され、甌島や甌ミュージアムについてPRしていただきました。



(7) 本市産SGEC森林認証材を県内木材会社へ初出荷

12月16日、令和7年3月にSGEC森林認証を取得した市有林（2,653ヘクタール）から「初」となる森林認証材の出荷式を開催しました。

SGEC森林認証とは、環境保全や資源循環に配慮した木材利用を推進するために、持続可能な森林管理を行っていることを第三者機関が認証する制度です。

森林管理の認証を取得している県内の公有林から、建築構造材用の認証材として、ヒノキを県内の木材会社へ出荷するのは初めてです。



(8) 2025薩摩川内市DEIフェスティバルを初開催

12月21日、SSプラザせんだいで、薩摩川内市DEIフェスティバルを開催しました。

ドラムサークルでは、参加者があるがままの音とリズムを奏で、自由に感じ、受け止め表現する楽しさを体験しました。また、にしゃんた氏の講話は、終始笑いの絶えない中にも、しっかりと心に響く説得力のあるものでした。

今回のイベントは、一人ひとりが「ちがい」を受け入れることの大切さを共有し、「DEI」への理解が深まる1日となりました。



(9) 可愛地区コミュニティセンター完成記念式典

12月22日、可愛地区コミュニティセンターの完成記念式典を挙行了ました。

同施設は、地域住民のつながりを育み、安全と教育のために、地区コミュニティセンター・消防詰所・スマイルルーム機能を集約した複合施設として整備を行いました。



(10) 公式訪韓団を派遣

12月23日から25日まで、公式訪韓団を大韓民国慶尚南道昌寧郡と釜山広域市に派遣しました。

大韓民国慶尚南道昌寧郡とは、長年に渡り、公式団、青少年スポーツ文化交流団などによる相互の友好交流を重ねてきており、両市郡の持続的な友好交流の発展に向けた意見交換等を行いました。また、川内港を介した貿易拡大に向けた検討を要請し、貿易関係事業者から「前向きに検討したい」と強い意欲が示されました。



(11) ホッケー女子日本代表チーム（さくらJAPAN）が合宿

1月7日から6日間、樋脇屋外人工芝競技場で、ホッケー女子日本代表チーム「さくらJAPAN」が、2月からチリで開催されるワールドカップ予選に向けて本市で初めて合宿を行いました。

1月9日には、歓迎式を行い激励品を贈呈しました。11日には、ホッケー未経験者を含む小中学生を対象としたホッケークリニック（教室）が行われ、ホッケーを通して市民と交流を深めました。



(12) 農産物の消費拡大、販売促進のためのトップセールス

1月16日、本市の農産物の首都圏における消費拡大、販売促進のため、東京都でトップセールスを実施しました。

早朝の大田市場で、本市産「鹿児島きんかん・いりき」の更なる取引拡大を図るためのPRを行ったほか、東京都庁で開催された「まるごと鹿児島さつまぜんだいフェア」においても、東京都庁来庁者に対し、きんかんの試食宣伝活動を行いました。



(13) 物価高騰対策に係る補正予算可決

1月19日、市議会臨時会において国の補正予算で拡充された重点支援地方交付金を活用して実施する物価高騰対策事業の補正予算が可決されました。これにより以下の事業を順次、実施します。

- ・ 物価高騰対応給付金支給事業
- ・ キャッシュレス決済による地域経済対策事業
- ・ 水道料金減免対策事業（水道事業・簡易水道事業）
- ・ 農産物生産施設用燃油高騰対策支援事業
- ・ 畜産飼料高騰対策支援事業
- ・ 林業用燃油高騰対策支援事業
- ・ 漁業用燃油高騰対策支援事業
- ・ WEB物産展開催事業
- ・ 薩摩川内市まんぞく宿泊GO！GO！キャンペーン事業



※各事業の詳細は市ホームページで確認できます。

(14) 六次産業化実施計画を承認

1月20日、株式会社なぎさに対し、農林漁業の六次産業化の促進に関する条例の規定に基づき、実施計画承認書を交付しました。

同社は今後、自らが漁獲したシラスや鯛を中心とした魚介類を活用して、加工・販売まで一体的に取り組む六次産業化を進めます。具体的には、新たな商品開発を行うとともに、直販や物産館での販売や、ふるさと納税返礼品としての取り扱いも目指していく計画です。



(15) 自民党港湾議員連盟総会で川内港に関する意見表明

1月22日、自由民主党本部（東京都）で開催された港湾議員連盟総会に出席し、重要港湾を有する市の立場から、川内港に関する意見表明を行いました。また、同日、自由民主党・港湾議員連盟会長の森山裕衆議院議員事務所を訪問し、川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業の整備促進などを要望しました。

<意見表明の主な内容>

- ・川内港唐浜地区国際物流ターミナルが暫定供用を迎えることを報告するとともに、同整備事業が地域産業の振興や国際物流の強化に大きく寄与する重要なプロジェクトであること
- ・川内港背後地において、循環経済と脱炭素化を推進するサーキュラー都市を目指す取組みや国内最大級のAIデータセンターの開設の動きなど、新たな産業展開が進んでいること



(16) 令和7年度特別交付税の要望

1月27日、令和7年度の特別交付税について、総務省の梶原大介総務大臣政務官、原邦彰総務事務次官等に対して、本市の財政需要に応じた配分額の確保を要望しました。



(17) 川内宮之城道路建設促進期成会が鹿児島県への初の要望

1月30日、本市と伊佐市、さつま町の行政、議会および商工会議所等の関係団体で構成する川内宮之城道路建設促進期成会が、設立後初めて鹿児島県に対して要望を行いました。

<要望事項>

- 1 激甚化、頻発化する風水害や切迫する大規模地震等に屈しない強靱な国土づくりを推進するための予算確保と、第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、通常予算とは別枠で予算を確保して、継続的な事業推進に取り組むこと
- 2 川内宮之城道路の高規格道路としての位置付けを図ること
- 3 川内宮之城道路の早期建設を図ること



2 主な議案等のポイント

議案 合計68件

- | | | |
|-----|---------------|-----|
| 1 | 一般議案 | 36件 |
| 2 | 令和7年度補正予算関係議案 | |
| (1) | 第11回補正 | 11件 |
| (2) | 第12回補正 | 9件 |
| 3 | 令和8年度当初予算関係議案 | 12件 |

報告 合計 3件

- | | | |
|---|---------|----|
| 1 | 専決処分の承認 | 1件 |
| 2 | 専決処分の報告 | 2件 |

議案第19号

情報通信技術の効果的な活用のための関係条例の整備に関する 条例の制定について

デジタル社会の形成を図るための規制改革を推進するためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、デジタル技術の進展を踏まえたその効果的な活用のためのアナログ規制の見直しを推進するため、関係条例の整備を図ろうとするもの

<改正（案）の概要>

○公布、公示、公表等の方法にデジタルの手段を明確に位置付け、行政手続の効率化、市民の利便性向上を図る。

- ・市ホームページへの掲載による条例の公布等を可能とし、公布、公表方法の手段を拡大
- ・「財政事情」や「人事行政の運営等の状況」の公表の方法を、「インターネットその他適切な方法」へ変更 等

【令和8年第2回薩摩川内市議会定例会 議案 その2】 26-1ページから28-1ページ参照

議案第26号～議案第28号

- ・ 薩摩川内市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- ・ 薩摩川内市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 薩摩川内市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

乳児等通園支援事業の実施について、所要の規定の整備を図ろうとするもの

○乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

・ 概要

親の就労要件を問わず、0歳6ヶ月から3歳未満の保育園等に通っていない子どもが、保育施設を月10時間程度まで利用できる制度

・ 保護者負担

各事業所において設定した額を保護者負担とすることが可能

・ 利用の流れ

国が整備した総合支援システムを活用し、自治体、事業者、利用者はインターネットを經由してアクセスし、予約、請求等を行う

・ 対象施設

保育所、認定こども園、小規模保育事業所、幼稚園など

議案第34号

薩摩川内市企業立地支援条例の一部を改正する条例の制定 について

本市における経済の浮揚及び雇用の増大を図るため、工業生産施設等の移転に係る助成対象範囲を拡充しようとするもの

<改正（案）の概要>

- ・移転する場合の目的について、「規模を拡大するための移転」を「規模を維持・拡大するための移転」に変更する。

議案第35号

薩摩川内市入来工業団地利活用促進条例の一部を改正する 条例の制定について

本市が所有する入来工業団地について、工業生産施設等の設置を促進するため、奨励措置の対象範囲を拡充しようとするもの

<改正（案）の概要>

- ・ 入来工業団地に工業生産施設等を立地する場合、新たに「5人以上」雇用する必要があったが、「3人以上」へ緩和。
- ・ 商業施設を立地する場合は、新たに「50人以上」雇用する必要があったが、「市外に本社を有する事業者が初めて立地する場合は10人以上、市内に本社を有する事業者の場合は5人以上」へ緩和。
- ・ 商業施設の対象業種に娯楽施設を追加。

所管課：産業戦略課

議案第47号

薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

議案第48号

薩摩川内市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について

近年の若年単身世帯を含む単身世帯が増加している
傾向を踏まえ、単身世帯の入居要件を緩和しようとするもの

○一般会計

- ・ 補正額 △ 4億163万9千円
- ・ 補正後の予算額

644億3,881万7千円

(前年度同期比 2.7%増)

(1) 産地生産基盤パワーアップ事業【新規】

今後も拡大が見込まれる海外市場や加工・業務用など、お茶の新たな需要の増大に対応するため、産地の生産基盤の強化を図る取組を支援します

※現在、国へ事業申請中

- 碾茶等製造ライン 一式（800k型）
- 補助対象者：1経営体
- 総事業費 5億907万3千円
- 県補助額 2億5,453万6千円（1/2）
- 設置者負担額 2億5,453万7千円

<事業費> 2億5,453万6千円

事項名：園芸振興育成事業費（担当課：畜産営農課）

(2) 避難所生活環境改善事業【新規】

国の補正予算に伴い、災害発生時に備え、避難所の生活環境の向上を図るために災害備蓄品を整備します

<災害備蓄品の内容>

- 蓄電池 20台
- LED投光器 7台

<事業費> 1,378万円

事項名：災害予防応急対策費（担当課：防災安全課）

4 令和8年度 当初予算のポイント

一般会計

過去最大

599億1千万円

前年度比 +7億9千万円 (+1.3%)

特別会計

8会計

267億6千万円

前年度比 +7億7千万円
(+2.9%)

公営

企業会計

3会計

59億1千万円

前年度比 △3千万円
(△0.5%)

全会計総額

925億8千万円

前年度比 +15億3千万円(+1.7%)

(1) 子ども・子育て

ア 乳児等支援給付事業（こども誰でも通園制度）【新規】

871万円（予算概要：64ページ）

保育所などに通っていない0歳6か月から満3歳未満のこどもが、保護者の就労用件を問わずに月10時間を上限に保育所などを利用することができ、その利用料の一部を市が負担します

イ 医療的ケア児保育支援事業【新規】

1,160万円（予算概要：136ページ）

医療的ケア児の受け入れを可能とするために、看護師などを配置する保育所などに対して、その配置に要する費用の一部を支援します

ウ こどもの木育推進事業【継続】

200万円（予算概要：90ページ）

子どもたちへの木育を推進するため、市内の保育所などに対して、地域産材で製作した木製玩具を贈呈するとともに、木育イベントを実施します

(1) 子ども・子育て

エ 子育て応援駐車場整備促進事業【新規】

75万円（予算概要：21ページ）

子育てしやすい環境づくりを進め、少子化対策と子育て支援の充実を図るために、市内民間施設における子育て応援駐車場の整備に要する費用の一部を助成します

オ 小学校給食費無償化事業【新規】

3億926万円（予算概要：133ページ）

子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、国の制度により、令和8年4月からの小学校の給食費について、全児童が無償で学校給食を利用できる制度を始めます

カ 学校給食費補助事業【継続】

5,413万円（予算概要：134ページ）

幼稚園、中学校の保護者負担を増加させることなく、給食の質・量を確保し、安定的な学校給食の提供を行うために、物価高騰に伴う食材費上昇分を引き続き助成します

(2) 高齢者の健康生きがいづくり

ア 高齢者見守り確認機器導入助成事業【新規】

500万円（予算概要：47ページ）

高齢者が自宅で安全・安心に生活できるように、安否を確認する見守り機器の導入にかかる費用の一部を助成し、日常の見守り負担を軽減することで、本人だけでなく見守る家族も安心できる環境づくりを支援します

イ 介護予防元気度アップ事業【継続】

2,608万円（予算概要：53ページ）

いつまでも自分らしく住み慣れた地域で生活することができるように、高齢者が介護予防に努めることを目的として、地域貢献や社会参加、健康増進活動などによって集めたポイントを、指定された協力店で利用できる事業を実施します

ウ 介護予防総合通所型事業(ミニ・デイ)【継続】

1億600万円（予算概要：53ページ）

住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、体操などの軽い運動や脳トレによる認知症予防、栄養や口腔ケアの講話を行う、気軽に参加できる介護予防事業を実施します

(2) 高齢者の健康生きがいづくり

エ ふれあい・いきいきサロン活動支援金（元気いきいきプロジェクト） 【継続】

209万円（予算概要：53ページ）

高齢者などが気軽に集い、仲間づくりや健康づくりを行える交流の場「ふれあい・いきいきサロン」の立ち上げを支援し、認知力向上の活動に積極的に取り組む団体に対して活動支援金を支給します

オ 認知症支援・サポート事業【継続】

1,828万円（予算概要：56ページ）

認知症になっても住み慣れた地域で健やかに暮らし続けられるよう、医師を中心とした認知症初期集中支援チームが本人や家族の自立した生活を支援します。あわせて、誰もが気軽に集い、相談や交流、介護者の息抜き、情報交換ができる認知症カフェや家族介護者の会などを通じ、日常的な支援体制を整えます

カ 高齢者感染症予防接種事業【継続】

1億8,509万円（予算概要：69ページ）

感染症の重症化を防ぐため、インフルエンザや新型コロナウイルスワクチンなどの予防接種費用の一部を負担します

(3) コミュニティ・市民活動

ア 自治公民館等設置事業補助金【拡充】

1,700万円（予算概要：26ページ）

自治公民館などの新築や増改築などに係る費用の一部助成のほか、近年の異常気象に伴う熱中症予防のため、指定避難所に指定された自治公民館のみであった空調設備設置助成を、全ての自治公民館に対象を拡充し設置費用の一部を助成します

イ 防犯灯設置費補助金【拡充】

380万円（予算概要：25ページ）

安全・安心なまちづくりを推進するため、防犯灯を設置する自治会などに対し、防犯灯の設置に係る経費の一部を助成するとともに、防犯灯のLED化の推進を図るため、金額を拡充し助成します

ウ コミュニティセンター建設事業【継続】

3億2,847万円（予算概要：26ページ）

長浜地区コミュニティセンターの老朽化に伴う建て替えを行うとともに、消防詰所の機能も併せ持つ複合施設として整備します

(3) コミュニティ・市民活動

エ 自治会・地区コミュニティ協議会活動支援事業【継続】

2億4,394万円（予算概要：26ページ、28ページ）

地域社会の発展と住みよい地域をつくるため、自治会や地区コミュニティ協議会が、行政と緊密な連携を図りながら自主的に行う地域活動を支援するための助成金を交付します

オ SANek スマイルアクションネットワーク推進事業【拡充】

6万円（予算概要：29ページ）

市民活動団体やNPO法人、地域団体、大学、企業など多様な主体と連携し、行政の人材育成やイベント事業とも連動することで、地域活性化に向けた公益的活動を推進し、協働による地域課題の解決を通じて本市の持続的な発展につながるネットワークを形成します

カ さつませんだいスマイル応援隊事業【新規】

268万円（予算概要：24ページ）

人口減少や少子高齢化による地域活動の担い手不足に対応するため、伝統行事や郷土芸能の継承、環境・景観保全、特産物づくりなどに地域外から参加・支援する人々と地域をつなぐ体制を整え、関係人口の創出を通じて地域社会の維持と活性化を図ります

(4) 産業人材確保・移住定住

ア 若者就労支援事業（中高生ふるさと就職奨励金）【拡充】 1,510万円

市内の高校新卒者または市内出身の市外高校新卒者（市内中学校卒業生）などが、市内居住かつ市内の事業所に就職後6か月以上経過した場合、10万円分のSDGsポイントをつんPayで支給します

さらに制度を拡充し、市外出身で市外高校新卒者（市外中学校卒業生）が、市内居住かつ市内の事業所に就職後6か月以上経過した場合、3万円分のSDGsポイントをつんPayで支給します

イ 奨学金返還支援補助金【継続】 3,000万円（予算概要：103ページ）

大学や短期大学、専門学校等を卒業した方が市内居住かつ市内の事業所に就職した場合に、在学期間に貸与を受けた奨学金の返還を補助します

ウ 移住者特集Webプロモーション事業【新規】

151万円（予算概要：101ページ）

人口減少対策の一環として、本市への移住・定住促進を目的に、移住・地域暮らし分野で高い認知度を有する雑誌と連携したWebプロモーションを実施します

(4) 産業人材確保・移住定住

エ テレビ番組移住PR動画作成事業【新規】

600万円（予算概要：101ページ）

人口減少対策の一環として本市の魅力を広く発信するため、情報番組に出演し、暮らしや地域の魅力を紹介する移住PR動画を制作します。あわせて、制作した動画を移住イベントでも活用し、来場者に本市の魅力をわかりやすく伝えていきます

オ 移住体験事業【拡充】

73万円（予算概要：101ページ）

都市部などから訪れた方に、本市の生活環境を体感してもらい、定住につながることを目的に実施してきた事業について、本土地域において、民宿を活用した移住体験住宅を整備し、制度拡充して実施します

カ 求人活動広告支援事業補助金【継続】

600万円（予算概要：102ページ）

市内中小企業者等の人材確保と、新卒者やU I ターン希望者の市内中小企業などへの就職を促進するため、中小企業等が人材確保や求人活動に要する経費の一部を補助します

(5) SDGs・カーボンニュートラル

ア サークュラー都市地域ブランディングプロジェクト【一部新規】

3,426万円（予算概要：25ページ）

「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現に向け、資源循環をテーマとした体験型・参加型の研修プログラムの実施を通じて、自ら考えて行動する人材（キーパーソン）の育成を図るとともに、理解促進のための市民向けの工場見学イベントの開催、ビジネス創出に向けたネットワーク強化（共創機会創出）に資する支援を行い、シビックプライドの醸成を図るとともに、取組の効果を可視化することにより、事業推進の加速化も図ります

イ SDGsチャレンジステップアップ事業【継続】

600万円

SDGsの普及啓発、人材育成のために、SNSなどを活用した広報活動やSDGsチャレンジパートナー向けの研修会などを実施します

ウ SDGsポイント活用事業【継続】

1,627万円

SDGs理念の浸透と地域内経済循環の創出を図るため、デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」を活用し、SDGsの取組に参加された方に対し、市内飲食店などで利用可能なSDGsポイントを付与します

(5) SDGs・カーボンニュートラル

エ 粗大ごみ資源化事業【新規】 6,248万円（予算概要：40ページ）

リサイクル率の向上と自立的な資源循環の実現に向け、粗大ごみに含まれる木質やプラスチック等の資源化から流通までを一連で検証する実証事業を実施します

オ 甌島圏域生ごみ等資源化実証事業【新規】

1,643万円（予算概要：39ページ）

生ごみを島内で循環させる仕組みづくりを目指し、生ごみの分別、収集・運搬、堆肥化までを一連で検証する実証事業を実施します

カ 発火性危険物仕分け事業【新規】

571万円

火災事故などの未然防止を図るため、リチウム蓄電池等とあわせて発火の危険性のある乾電池、使い捨てライター、ガスボンベなどを「発火性危険物」として分別収集を実施します

(6) DX（まちのDX・行政DX）

ア 災害体験VR機器導入事業【新規】 114万円

防災教育や啓発活動の充実を図るため、高齢者や子どもを含む幅広い世代に災害時の危険性や避難行動を視覚的にわかりやすく伝える手段として、災害体験VR機器を導入します

イ 電子契約導入事業【新規】 157万円（予算概要：31ページ）

契約締結の迅速化を図るため、従来の紙の契約書への押印に代えて、電子ファイルに電子署名を付与する契約方式を導入します

ウ 中小企業DX支援事業【継続】 750万円（予算概要：99ページ）

市内の中小企業における労働生産性向上に資するDXを促進するため、DXに関する機運醸成を目的としたセミナーを開催し、参加企業から経営課題やニーズを聞き取った上で、専門家によるDX化に向けた支援を実施します

(6) DX (まちのDX・行政DX)

工 樋門・水門等情報伝達システム運用管理事業 【継続】 236万円

災害時における樋門・水門などの迅速かつ的確な操作および情報共有を図るため、水門管理人との連絡体制の強化や、市民に対する対応状況の見える化を行うシステムを導入します

オ 浸水探知センサ設置事業【拡充】 119万円

道路浸水による災害を未然に防止し、市民の安全確保および迅速な通行規制対応を図るため、市道2箇所のアnderパスに浸水探知センサを設置します

カ 災害時用備蓄管理システム導入事業【新規】 42万円 (予算概要：36ページ)

災害時に備えた備蓄品について、数量や使用期限等を適切に管理し、迅速な物資提供を行うため、情報を一元的に把握できる災害用備蓄管理システムを導入します

(7) 薩摩川内スマイルアクション50

社会スマイル (はぐくむ)

子育て支援、安全・安心、地域のつながり、多様性を大切に、市民一人ひとりの暮らしに寄り添う社会スマイルを実行します。

- 18歳以下医療費窓口負担ゼロ事業
- 子どものイベント事業
- **遊具整備事業【ピックアップ事業①】**
- 涼みスポット設置促進事業
- 高齢者いきいきサロン事業
- ダイバーシティ社会形成推進事業
- 女性活躍推進事業 など

環境スマイル (まもる)

自然の恵みを守りながら、循環する暮らし、次世代エネルギー、防災・減災の取組を進め、環境にやさしい環境スマイルを実行します。

- 祁答院生態系保存資料施設（資料館アライム）改修事業
- 地域農業活性化・農福連携支援事業
- サーキュラー都市環境プロジェクト（ごみの減量・CO2削減）事業
- 次世代エネルギー産業立地事業
- 防災・減災事業 など

経済スマイル (つくる・めぐる)

仕事や人が集まり、地域の魅力が広がるよう、循環型の経済づくりと人材確保、港湾整備や観光・文化の力を生かした経済スマイルを実行します。

- サーキュラー都市経済プロジェクト事業
- 国指定重要文化財保存継承事業
- 川内港（唐浜埠頭）整備促進事業
- **企業立地支援事業【ピックアップ事業②】**
- 産業人材確保事業
- 移住定住促進事業 など

実現スマイル (つながる・まなぶ)

人と人、地域と行政がつながり、学び合いながら、デジタルや人材育成、官民連携でチーム薩摩川内として実現スマイルを実行します。

- 行政DX（窓口サービス利便性向上、オンライン申請）事業
- 地域ICT事業
- SANek（サネック）スマイルアクションネットワーク推進事業
- 市職員人材育成（待遇改善）事業 など

ピックアップ事業

① 遊具整備事業（社会スマイル） ② 企業立地支援事業（経済スマイル）

子どもたちが笑顔で楽しく過ごせる環境をつくるため、年次的に遊具を整備します。

近年の市民ニーズ及び企業活動の実情に応じた活用しやすい助成制度に見直します。

【令和8年度設置場所（5箇所）】

- 《屋外》 樋渡川多目的運動公園
- 《屋内》 市役所本庁舎
- SSプラザせんだい
- すこやかふれあいプラザ
- 図書館祁答院分館

【令和8年度改正内容（4項目）】

- 企業立地支援補助金の要件緩和による拡充
- 商業施設立地支援補助金の要件緩和による拡充
- 魅力あるオフィスの「誘致」と「環境整備」に向けた新制度の創設
- 社宅・社員寮整備の新制度の創設

(8) 電源立地地域対策交付金等事業

ア 電源立地地域対策交付金

川内原子力発電所1、2号機の運転期間延長に伴い、稼働後40年を超えたことから、**それぞれ毎年1億円（20年間）加算**交付されます。

■ 1号機運転延長加算分《1億円/年》 20年間（R6～R25）

事業名	事業費	交付金活用額
学校給食費補助事業	5,413万円	5,000万円
給食センター施設設備整備事業 （グラントケトル購入事業）	7,821万円	5,000万円

■ 2号機運転延長加算分《1億円/年》 20年間（R7～R26）

事業名	事業費	交付金活用額
川内港背後地北側道路整備事業	1億7,200万円	1億円

(8) 電源立地地域対策交付金等事業

イ 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金

川内原子力発電所の運転延長に伴い、県が策定する地域振興計画に基づき、国から県に対して交付される25億円のうち、**12億4,100万円**が令和7年度から交付期間内において県から本市に交付されます。（令和8年度交付予定額：1億9,500万円）

➤ 交付金を活用した令和8年度実施事業

令和8年度に交付される一部（1,800万円）と、令和7年度に未来のまち創生整備基金へ積み立てた一部（2億4,880万円）との**合計（2億6,680万円）**を以下の事業に活用します

事業名	事業費	活用額
遊具整備事業	3,800万円	2,320万円
祁答院生態系保存資料施設改修事業	1,268万円	800万円
道路整備事業	3億450万円	2億1,760万円
中央図書館移動図書館車購入事業	3,500万円	1,800万円

(9) 使用済核燃料税活用事業

● 使用済核燃料税の活用

使用済核燃料税は、発電用原子炉から取り出した使用済核燃料を、使用済核燃料貯蔵施設または再処理施設に搬出されるまでの間、貯蔵されているものの一部について課税する**本市の独自財源**で、子育て支援や市民活動、防災・減災事業など**広く市民に活用**されています。

なお、**令和8年度の増収分（約2,000万円）**を活用する主な事業は次のとおりです。

■ 令和8年度の増収分《約2,000万円》を活用する主な事業

事業名	事業費
【新規】 放課後児童クラブ巡回アドバイザー事業	402万円
【新規】 高齢者見守り機器導入費助成事業	500万円
【新規】 東部エリア経済活性化事業	440万円
【新規】 甌島通信学習センター設置事業	80万円
【新規】 魅力あるオフィス環境づくり支援補助金	200万円
【新規】 手話言語等電話通訳事業（電話リレーサービス）	12万円
《拡充》 危険廃屋等解体撤去促進補助金拡充分	685万円

(10) 政策別の主な事業（ゼロ予算事業を含む）

◇政策1【コミュニティ・都市経営】 共生と多様性で輝くまち

- ①【一部新規】サーキュラー都市地域ブランディング事業
- ②【拡充】自治公民館等設置事業補助金事業
- ③【拡充】防犯灯管理事業
- ④【新規】東部エリア経済活性化事業

◇政策3【保健福祉】健やかに暮らせるまち

- ①【一部新規】母と子の健康診査事業
- ②【新規】乳児等支援給付事業
- ③【新規】医療的ケア児保育支援事業
- ④【新規】手話言語等電話通訳事業
(電話リレーサービス)

◇政策5【産業・シティセールス】 活力と賑わいを生み出すまち

- ①【新規】川内港背後地整備調査事業
- ②【一部新規・拡充】企業誘致事業
- ③【新規】立地企業支援事業
- ④【新規】川内・甕島水産物流通拡大整備事業

◇ゼロ予算事業（主なもの）

- ①【新規】特定技能外国人雇用事業者連携事業
- ③【継続】広報紙アプリ活用事業
- ④【継続】災害情報発信事業
- ⑦【継続】「すてきびと」事業

◇政策2【市民安全・消防】安全・安心なまち

- ①【新規】備蓄管理システム導入事業
- ②【新規】防災啓発番組制作事業
- ③【新規】粗大ごみ資源化事業
- ④【新規】祁答院生態系保存資料施設（資料館アクア
アイム）改修事業

◇政策4【教育】次世代につなぐ教育のまち

- ①【新規】小学校給食費無償化事業
- ②【新規】中央図書館移動図書館車購入事業
- ③【拡充】学びの多様化支援事業
- ④【拡充】幼稚園一時預かり事業

◇政策6【建設・水道】社会を支える快適なまち

- ①【新規】屋内遊具整備事業
- ②【拡充】屋外遊具整備事業
- ③【拡充】危険廃屋等解体撤去促進事業
- ④【新規】水辺×地域資源を核にした個性ある
地域づくり事業

- ②【新規】「相続贈与ガイドブック」の配布
- ⑤【継続】自治会に関するオンライン問合せ事業
- ⑥【継続】ふるさと空き家見守りサービス